

令和 8 年 8 月 7 日公表

水産物流通調査
令和 7 年水産加工統計調査結果

食用加工品及び生鮮冷凍水産物の生産量は
前年に比べそれぞれ 3 %、4 %減少

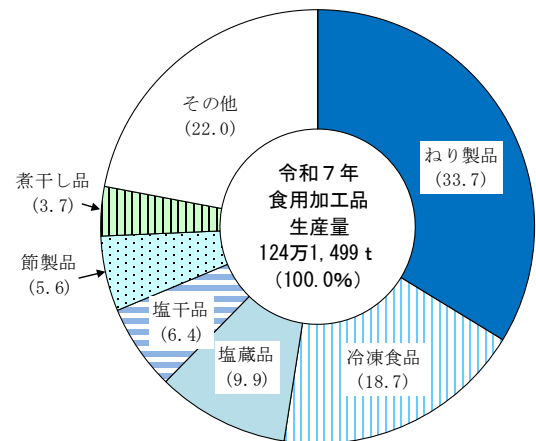
【調査結果の概要】

令和 7 年の食用加工品の生産量（焼・味付のりを除く。以下同じ。）は124万1,499 t で、前年に比べ 3 %減少した。

主な加工種類別にみると、ねり製品は41万8,747 t、節製品は6万9,614 t、煮干し品は4万5,580 t で、前年に比べそれぞれ 3 %、1 %、4 %増加した。一方、冷凍食品は23万2,751 t、塩蔵品は12万2,503 t、塩干品は7万8,936 t で、前年に比べそれぞれ 8 %、6 %、12%減少した。

生鮮冷凍水産物の生産量は85万1,118 t で、前年に比べ 4 %減少した。

図 1 食用加工品生産量の主要加工種類別構成割合（全国）



注：表示単位未満を四捨五入しているため合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

表 1 主要加工種類別食用加工品及び生鮮冷凍水産物の生産量（全国）

区 分	単位	令和 6 年	7	対前年差	対前年比
食 用 加 工 品	t	1,285,605	1,241,499	△ 44,106	97
うちねり製品	〃	408,262	418,747	10,485	103
冷凍食品	〃	251,715	232,751	△ 18,964	92
塩蔵品	〃	130,574	122,503	△ 8,071	94
塩干品	〃	89,579	78,936	△ 10,643	88
節製品	〃	68,638	69,614	976	101
煮干し品	〃	43,982	45,580	1,598	104
焼・味付のり	千枚	6,121,041	5,914,783	△ 206,258	97
生鮮冷凍水産物	t	885,721	851,118	△ 34,603	96

- 加工種類とは、製造方法や保存方法により水産加工品を分類したものである。
 なお、水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で 50%以上）として製造された、食用加工品及び生鮮冷凍水産物をいう。
- 食用加工品の計には焼・味付のりは含まれていない。

◎ 累年データ

水産加工品生産量の推移（全国）

年 次	食 用 加 工 品					
	計	ねり製品	冷凍食品	素干し品	塩干品	煮干し品
	t	t	t	t	t	t
平成28年	1,630,347	514,397	253,851	11,489	156,310	56,243
29	1,568,548	505,116	248,443	8,644	148,119	50,224
30	1,586,804	509,569	255,888	7,051	139,569	59,031
令和元	1,538,506	499,920	250,432	6,835	134,784	55,191
2	1,436,880	473,292	229,581	6,458	120,775	52,817
3	1,425,915	483,686	225,349	5,053	117,757	53,632
4	1,383,867	471,382	213,915	4,899	115,139	46,328
5	1,336,721	421,356	263,668	5,846	97,002	56,788
6	1,285,605	408,262	251,715	5,099	89,579	43,982
7	1,241,499	418,747	232,751	3,943	78,936	45,580

年 次	食 用 加 工 品 （ 続 き ）					生鮮冷凍 水 産 物
	塩蔵品	くん製品	節製品	その他の 食用加工品	焼・味付 のり	
	t	t	t	t	千枚	t
平成28年	171,171	7,304	81,523	378,059	7,108,688	1,401,661
29	166,340	6,335	81,061	354,266	6,755,532	1,366,166
30	181,630	6,843	79,595	347,628	6,558,385	1,397,203
令和元	169,955	6,626	78,643	336,120	6,442,555	1,281,265
2	156,386	6,923	71,801	318,847	6,013,442	1,111,074
3	150,782	6,606	66,005	317,045	5,973,749	1,110,308
4	148,510	6,641	63,603	313,450	6,039,856	1,067,324
5	141,648	3,309	66,186	280,918	6,536,922	985,880
6	130,574	3,515	68,638	284,241	6,121,041	885,721
7	122,503	3,382	69,614	266,043	5,914,783	851,118

資料：農林水産省統計部「水産加工統計調査」。ただし、平成30年及び令和5年の数値はそれぞれ「2018年漁業センサス」及び「2023年漁業センサス」。

注：食用加工品の「計」には焼・味付のりは含まれていない。

【調査結果】

1 食用加工品の主な品目別生産量

(1) ねり製品

ねり製品の生産量は41万8,747 tで、前年に比べ3%増加した。

品目別にみると、かまぼこ類は36万1,691 t、魚肉ハム・ソーセージ類は5万7,056 tで、前年に比べそれぞれ1%、14%増加した。

図2 ねり製品生産量の品目別構成割合（全国）

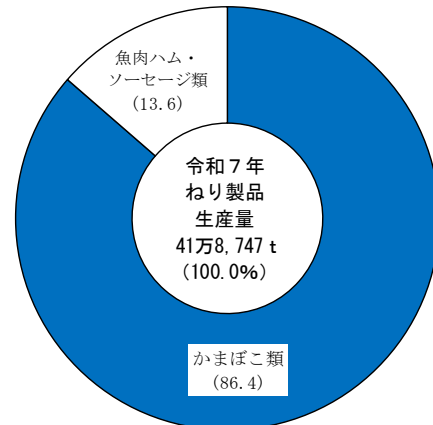


表2 ねり製品の品目別生産量（全国）

区 分	令和6年	7	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
ねり製品	408,262	418,747	10,485	103
かまぼこ類	358,146	361,691	3,545	101
魚肉ハム・ソーセージ類	50,116	57,056	6,940	114

(2) 冷凍食品

冷凍食品の生産量は23万2,751 tで、前年に比べ8%減少した。

品目別にみると、魚介類（切り身、むきえび等の加工品）は13万3,491 t、水産物調理食品は9万9,260 tで、前年に比べそれぞれ4%、12%減少した。

図3 冷凍食品生産量の品目別構成割合（全国）

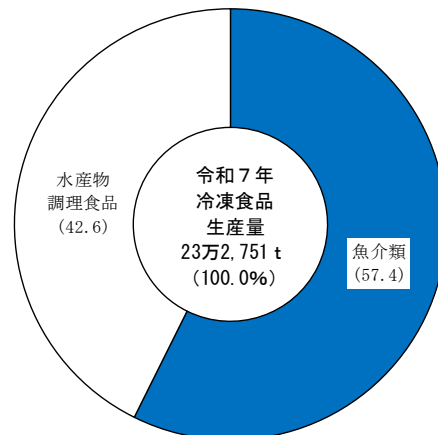


表3 冷凍食品の品目別生産量（全国）

区 分	令和6年	7	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
冷凍食品	251,715	232,751	△ 18,964	92
魚介類	139,445	133,491	△ 5,954	96
水産物調理食品	112,270	99,260	△ 13,010	88

(3) 塩蔵品

塩蔵品の生産量は12万2,503 tで、前年に比べ6%減少した。

主な品目別にみると、さけ・ますは7万2,534 t、さばは1万6,500 t、たら・すけとうだらは2,606 tで、前年に比べそれぞれ5%、16%、14%減少した。

図4 塩蔵品生産量の主要品目別構成割合（全国）

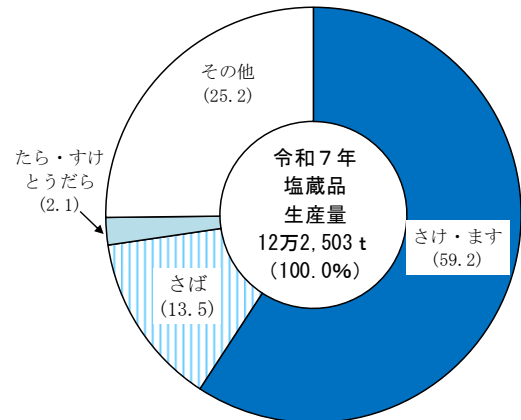


表4 塩蔵品の主要品目別生産量（全国）

区 分	令和6年	7	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩 蔵 品	130,574	122,503	△ 8,071	94
うち さ け ・ ま す	76,565	72,534	△ 4,031	95
さ ば	19,618	16,500	△ 3,118	84
たら・すけとうだら	3,044	2,606	△ 438	86

(4) 塩干品

塩干品の生産量は7万8,936 tで、前年に比べ12%減少した。

主な品目別にみると、ほっけは3万963 t、あじは1万5,319 t、さばは7,713 t、いわしは6,218 t、かれいは2,490 tで、前年に比べそれぞれ3%、8%、19%、15%、22%減少した。

図5 塩干品生産量の主要品目別構成割合（全国）

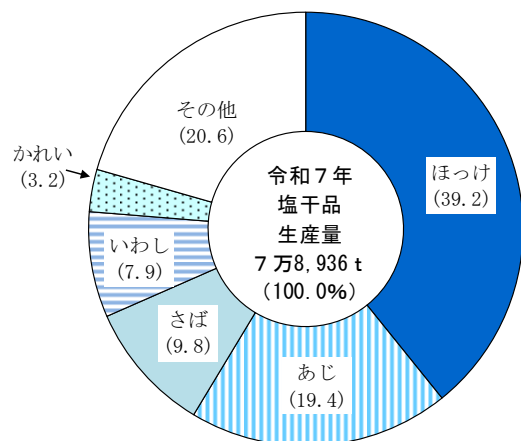


表5 塩干品の主要品目別生産量（全国）

区 分	令和6年	7	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩 干 品	89,579	78,936	△ 10,643	88
うち ほ っ け	31,865	30,963	△ 902	97
あ じ	16,659	15,319	△ 1,340	92
さ ば	9,469	7,713	△ 1,756	81
い わ し	7,276	6,218	△ 1,058	85
か れ い	3,212	2,490	△ 722	78

2 生鮮冷凍水産物

生鮮冷凍水産物の生産量は85万1,118 tで、前年に比べ4 %減少した。

主な品目別にみると、いわし類は36万3,960 t、まぐろ類は2万6,760 tで、前年に比べそれぞれ8 %、120%増加した。さば類は16万5,733 t、ほたてがいは4万9,687 t、さけ・ます類は3万3,083 tで、前年に比べそれぞれ3 %、27%、30%減少した。

図6 生鮮冷凍水産物生産量の主要品目別構成割合（全国）

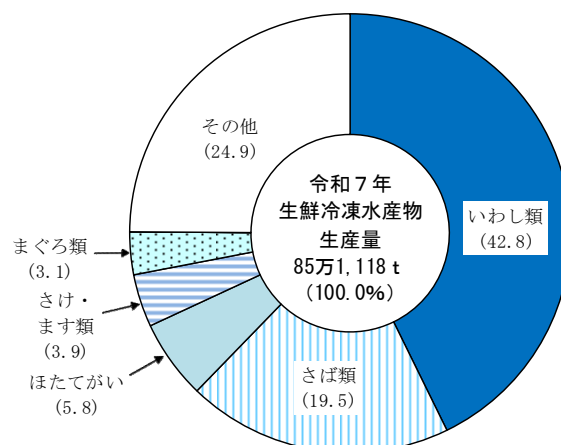


表6 生鮮冷凍水産物の主要品目別生産量（全国）

区 分	令和6年	7	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
生 鮮 冷 凍 水 産 物	885,721	851,118	△ 34,603	96
うち い わ し 類	338,364	363,960	25,596	108
さ ば 類	170,434	165,733	△ 4,701	97
ほ た て が い	68,240	49,687	△ 18,553	73
さ け ・ ま す 類	47,417	33,083	△ 14,334	70
ま ぐ ろ 類	12,178	26,760	14,582	220

【統計表、調査の概要】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&id=000001486869>

【調査結果の主な利活用】

- ・ 「水産加工業施設改良資金融通臨時措置法」(昭和 52 年法律第 93 号)に基づき、融資を行う水産加工施設で取り扱う水産加工品の生産動向を把握するための資料
- ・ 水産物等の輸入割当制度 (IQ 制度) の対象となっている品目の輸入割当枠設定の際の協議資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「水産業」、品目別分類「加工食品」の「水産加工統計調査」で御覧いただけます。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/suisan_ryutu/suisan_kakou/#y
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【関連リンク】

水産庁ホームページ

<https://www.jfa.maff.go.jp>

2023 年漁業センサス報告書

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/fc/2023fc/2023fc.html>

漁業・養殖業生産統計

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kaimen_gyosei/

— お問合せ先 —

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 消費統計室 食品産業動向班

電 話：(代表) 03-3502-8111 内線 3716

(直通) 03-6744-2048

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電 話：(代表) 03-3502-8111 内線 3589

(直通) 03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データの力で。
農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries



2027年国際園芸博覧会
2027.3.19-9.26 横浜・上瀬谷

